

令和6年度（公社）愛知県栄養士会 在宅医療・介護運営委員会主催  
地域密着型拠点づくりのためのスキルアップ研修会 名古屋ブロック編

日 時：令和6年10月5日（土）13：30～16：00

場 所：ウイंकあいち 1210

参加者：24名（スタッフ含む）

目 的：地域ケア会議に管理栄養士（専門職）として  
参加できるようにするための研修会とする



公益社団法人愛知県栄養士会在宅医療・介護運営委員会は、今年度、「地域ケア会議からの訪問栄養食事指導」をテーマに、地域密着型の拠点を構築するべく「顔の見える関係づくり」を目指した人材育成研修会を県内5ブロックに分け開催します。その第4回目として名古屋ブロック研修会を開催しましたので報告をさせていただきます。

研修は、講義と事例報告、地域ケア模擬会議とグループワークを行いました。講義は在宅医療・介護運営委員会委員長 豊田典子より「栄養ケア・ステーション組織体制の説明」と題し、地域と管理栄養士が繋がる栄養ケア・ステーションの仕組みについての説明の後、愛知県理学療法士会副代表理事 熊谷泰臣先生をお招きし、「地域包括ケアの多職種からの最新情報」についてご講演をいただきました。内容は、「理学療法士の立場から介護予防における管理栄養士との連携について」と題し、地域ケア会議について、5つの機能があること、軽度者の対応が不十分な現状の課題があること、効果的に運用するために5団体の専門職である理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士による多角的アセスメントの視点が重要であることなどを学ぶことができました。

事例報告では、医療法人財団善常会善常会リハビリテーション病院 水谷ひかり先生より、栄養ケア会議で取り上げられていた、症例1「経済的困窮にある認知症高齢者」と、症例2「金銭トラブルにより家族が離れてしまった認知機能低下の高齢者」について発表していただきました。地域ケア会議で提供される事例には複合的な課題が生じていることもあり、食事・栄養に関する課題は他の課題と比較し優先順位が低く着目されにくいですが、健康管理を行う上で重要な因子の一つであるため、その重要性について多職種と共有していきたいと話されていました。

在宅医療・介護運営委員会副委員長（岡崎東病院）木原八千代より「地域ケア会議に出席するための心得」として、管理栄養士の役割、失敗しないケア会議にするための10か条、助言・提案ポイントなどについて会議に参加するために知っておきたい具体的な内容を説明していただきました。

最後に、スタッフ一同で地域ケア模擬会議を行い、実際の様子を参加者に見ていただきました。その後、グループワークを行い、模擬会議の症例や地域ケア会議についての意見や感想、地域で活動するための質問など活発に意見交換が行われました。

今後は11月にブロック最後の研修会と、12月の全体会議が開催されます。このブロック別研修会と12月の全体研修会の両方に参加された方は認定証が発行され、来年度の「訪問栄養食事指導同行研修」の参加が可能になります。詳しくは愛知県栄養士会のHPをご確認ください。地域で活躍できる管理栄養士として資質向上を目指していきましょう。

（報告 中川啓子）